

# 2012年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ



■当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が保有する投資信託の勧誘を目的とするものではありません。

■この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて年金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する変額個人年金保険(生命保険)です。

■当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2013年7月作成

## ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。

さて、2012年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。当期の特別勘定の運用につきましては以下のとおりとなっております。

今後ともご期待にお応えすべく運用力の強化に努めてまいりますので、一層のお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

### 1. 市場動向 (2012年4月1日～2013年3月31日)

#### 【市場動向】

2012年度の国内債券市場（新発10年国債利回り）は、世界経済の減速懸念や欧州債務問題への警戒感から低下基調で始まりました。その後も米国の“財政の崖”問題などから低金利での推移が続きましたが、年明け以降は日銀新総裁人事を巡る追加緩和期待などから金利低下基調が加速したことで、長期金利は10年ぶりとなる0.5%台で期末を迎えました。

外国債券市場は、米10年物国債利回りが景気の先行き不透明感から7月にかけて低下傾向で推移しました。年後半になると、堅調な住宅市況などを背景に景気の回復期待が高まるとともに11月の米国大統領選挙が、予想通りの結果となり、“財政の崖”問題も回避されたことから、金利は上昇傾向で推移しました。

国内株式市場は、米国経済統計の悪化や欧州債務懸念の拡大から、日経平均株価は年度始の10,083円から6月には8,500円を割る水準まで下落しました。年後半になると、日銀による追加金融緩和期待を背景とした円安ドル高から株価は上昇に転じた後、安倍新政権による成長戦略への期待感から上昇基調を強めたことで、年度末の日経平均株価は12,397円で取引を終えました。

外国株式市場は、米国の“財政の崖”問題などから10月から11月にかけて急落しました。しかし、その後はFRBによるQE3の拡大や、崖回避の期待を受けて上昇基調となりました。3月には米経済指標の改善を背景にNYダウは5年半ぶりに史上最高値を更新し、期末にかけて上昇基調に転じました。

為替市場は、日本政府や日銀による円売り介入への警戒感や米国の追加金融緩和策への思惑から、1ドル80円を挟んだレンジ内での推移が続いた後、安倍自民党総裁が日銀による無制限の金融緩和に言及したことで円安ドル高基調へ転じると、終始円安基調で推移し、年度末のドル円相場は、1ドル94円台となりました。

#### ○最低年金原資保証タイプ

##### (1) 当期の運用方針及び運用内容

運用の基本方針は、国内外の株式・国内外の公社債・短期金融商品等を組み合わせ、リスク低減に努めつつ中長期的な運用成果を目指しております。資産配分は「株式30%、債券（含、短期金融商品等）70%」を基本配分とした上で市場環境等の変化に対応するために、±20%程度の範囲内で基本資産配分に対する許容範囲を設けております。また、株式及び債券の内訳はリスクを抑制するため主に円貨建有価証券等で行います。

当期につきましては上記の基本方針の下で運用を行ってまいりました。

また、上記のような市場動向の下、今期のユニットバリューの伸び率は+6.16%となりました。

##### (2) 来期の運用方針

運用の基本方針については当期と変更はございません。また、来期の運用方針につきましても基本方針に基づいて運用を行ってまいります。

#### ○特別勘定選択タイプ

##### (1) 当期の運用方針及び運用内容

運用の基本方針は、ワールド・ミックス40、ワールド・ミックス60、ワールド・ミックス80については主として日本の株式・公社債等および海外の株式・公社債等を運用対象とする投資信託を組み合わせることにより、リスクの低減に努めつつ中長期的な運用成果を目指しております。基本資産配分及び資産別配分につきましては表1の通りです。また、市場環境の変化に対応するため±5%程度の範囲内で基本資産配分に対する許容範囲を設けております。また、マネープールについては円建ての短期金融商品等で運用し、流動性を十分配慮した運用を目指しております。

当期につきましても上記の基本方針の下で運用を行ってまいりました。また、上記のような市場動向の下で、資産配分を基本資産配分の許容範囲内に収めつつ、投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行った結果、当期のユニットバリューの伸び率は、ワールド・ミックス40で+14.35%、ワールド・ミックス60で+16.03%、ワールド・ミックス80で+16.45%となりました。

##### (2) 来期の運用方針

運用の基本方針については当期と変更はございません。また、来期の運用方針につきましても基本方針に基づいて運用を行ってまいります。

#### 〈表1〉

##### 〈基本資産配分〉

特別勘定名	株式	債券（含、短期金融商品等）
ワールド・ミックス40（バランス指向）	40%	60%
ワールド・ミックス60（成長指向）	60%	40%
ワールド・ミックス80（積極指向）	80%	20%

##### 〈資産別配分〉

特別勘定名	国内株式	外国株式	国内債券	外国債券
ワールド・ミックス40（バランス指向）	27%	13%	30%	30%
ワールド・ミックス60（成長指向）	40%	20%	20%	20%
ワールド・ミックス80（積極指向）	60%	20%	16%	4%

## 2. 保有契約高

区分	件数	金額(百万円)
最低年金原資保証タイプ	298	1,140
特別勘定選択タイプ	114	393
合計	412	1,533

## 3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り
2012年3月末	100.2244		100.5936		95.2415		85.6063	
2012年4月末	98.6182	-1.60%	97.1297	-3.44%	90.9420	-4.51%	80.6560	-5.78%
2012年5月末	95.4793	-4.73%	92.7336	-7.81%	85.4539	-10.28%	74.1126	-13.43%
2012年6月末	97.5125	-2.71%	96.1261	-4.44%	89.3589	-6.18%	78.7200	-8.04%
2012年7月末	96.1317	-4.08%	94.0687	-6.49%	87.0573	-8.59%	76.1165	-11.09%
2012年8月末	95.9383	-4.28%	94.6362	-5.92%	87.6520	-7.97%	76.4396	-10.71%
2012年9月末	96.2736	-3.94%	95.5423	-5.02%	88.6698	-6.90%	77.4499	-9.53%
2012年10月末	96.4883	-3.73%	96.9264	-3.65%	89.9568	-5.55%	78.4347	-8.38%
2012年11月末	97.7252	-2.49%	99.9959	-0.59%	93.1391	-2.21%	81.5678	-4.72%
2012年12月末	100.2791	0.05%	106.8763	6.25%	100.9961	6.04%	89.7277	4.81%
2013年1月末	103.2610	3.03%	111.6549	11.00%	106.1663	11.47%	94.6248	10.53%
2013年2月末	104.0466	3.81%	113.0078	12.34%	108.1216	13.52%	97.3298	13.69%
2013年3月末	106.3955	6.16%	115.0260	14.35%	110.5076	16.03%	99.6851	16.45%

(注) ユニットバリューとは、各特別勘定の運用開始時を100として、「持ち分1口当たりの価値」を意味します。

運用利回りはユニットバリューの2012年3月末からの伸び率を記載しております。

マネープールについては2012年度の残高はございません。

## 4. 資産の内訳

(2011年度末)

(単位:千円、%)

区分	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	85,807	1.8	2,311	1.0	590	2.3	1,262	0.9
株式	1,501,385	30.8	—	—	—	—	—	—
公社債	3,259,939	66.9	—	—	—	—	—	—
外国株式	—	—	—	—	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	—	—	233,115	98.8	24,660	97.4	141,006	99.1
貸付金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	23,840	0.5	622	0.3	78	0.3	—	—
合計	4,870,972	100.0	236,049	100.0	25,329	100.0	142,268	100.0

(2012年度末)

(単位:千円、%)

区分	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	127,389	2.9	2,124	0.8	400	2.1	1,231	0.9
株式	1,512,945	34.9	—	—	—	—	—	—
公社債	2,674,039	61.6	—	—	—	—	—	—
外国株式	—	—	—	—	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	—	—	247,066	97.9	18,850	96.9	131,842	99.1
貸付金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	24,648	0.6	3,113	1.2	194	1.0	—	—
合計	4,339,022	100.0	252,304	100.0	19,445	100.0	133,074	100.0

(注) 2012年度末、2011年度末ともマネープールの残高はございません。

## 5. 運用収支状況(2012年4月1日～2013年3月31日)

(単位:千円)

項目	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額		金額		金額		金額	
	2011年度	2012年度	2011年度	2012年度	2011年度	2012年度	2011年度	2012年度
利息配当金収入	65,301	49,631	1,174	3,284	90	460	3	601
有価証券売却益	77,916	106,819	—	—	—	—	—	—
有価証券償還益	—	9,137	—	—	—	—	—	—
有価証券評価益	388,441	510,084	25,644	49,656	3,501	4,902	39,385	45,357
為替差益	—	—	—	—	—	—	—	—
金融派生商品収益	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
有価証券売却損	178,248	189,266	—	—	—	—	—	—
有価証券償還損	—	5,458	—	—	—	—	—	—
有価証券評価損	294,341	204,466	19,078	17,753	2,861	1,860	36,421	14,141
為替差損	—	—	—	—	—	—	—	—
金融派生商品費用	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の費用	105	131	2,088	1,842	209	988	949	12,418
収支差計	58,963	276,349	5,652	33,344	521	2,513	2,017	19,398

(注)2012年度末、2011年度末ともマネーパールの残高はございません。

## 6. 運用株式主要銘柄

### ○最低年金原資保証タイプ

#### (1) 保有上位30銘柄

(単位:株、千円、%)

順位	銘柄名	2012年度末				
		業種	株数	時価単価	時価額	構成比
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	116,200	558	64,839	4.3
2	本田技研工業	輸送用機器	17,800	3,555	63,279	4.2
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	16,100	3,775	60,777	4.0
4	トヨタ自動車	輸送用機器	12,200	4,860	59,292	3.9
5	日立製作所	電気機器	108,000	543	58,644	3.9
6	東急不動産	不動産業	58,000	877	50,865	3.4
7	いすゞ自動車	輸送用機器	74,000	555	41,070	2.7
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	182,300	199	36,277	2.4
9	オリックス	その他金融業	29,900	1,191	35,610	2.4
10	京成電鉄	陸運業	35,000	1,003	35,104	2.3
11	三菱商事	卸売業	19,900	1,743	34,685	2.3
12	ツムラ	医薬品	9,700	3,475	33,707	2.2
13	日立ハイテクノロジーズ	卸売業	16,600	1,980	32,868	2.2
14	三菱マテリアル	非鉄金属	113,000	268	30,284	2.0
15	J.フロント リテイリング	小売業	41,000	729	29,888	2.0
16	住友化学	化学	97,000	293	28,421	1.9
17	ダイセル	化学	38,000	746	28,348	1.9
18	豊田通商	卸売業	10,500	2,439	25,609	1.7
19	良品計画	小売業	3,400	7,530	25,602	1.7
20	阪急阪神ホールディングス	陸運業	44,000	569	25,036	1.7
21	Eイチ・オー・リテイリング	小売業	24,000	1,016	24,384	1.6
22	味の素	食料品	17,000	1,415	24,055	1.6
23	大塚ホールディングス	医薬品	7,100	3,300	23,430	1.5
24	ITホールディングス	情報・通信業	17,800	1,243	22,125	1.5
25	日本テレビホールディングス	情報・通信業	15,500	1,409	21,839	1.4
26	アマダ	機械	34,000	629	21,386	1.4
27	日立キャピタル	その他金融業	10,100	2,036	20,563	1.4
28	日本たばこ産業	食料品	6,800	3,000	20,400	1.3
29	キヤノン	電気機器	5,900	3,400	20,060	1.3
30	東日本旅客鉄道	陸運業	2,500	7,720	19,300	1.3

#### (2) 業種別保有状況

(単位:千円、%)

業種名	2011年度末		2012年度末	
	時価額	構成比	時価額	構成比
水産・農林	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—
建設業	11,888	0.8	10,314	0.7
食料品	44,718	3.0	61,706	4.1
繊維製品	—	—	—	—
パルプ・紙	18,608	1.2	—	—
化学	133,697	8.9	56,769	3.8
医薬品	62,807	4.2	72,823	4.8
石油石炭製品	7,130	0.5	7,308	0.5
ゴム製品	20,187	1.3	—	—
ガラス土石製品	3,510	0.2	3,885	0.3
鉄鋼	14,528	1.0	17,860	1.2
非鉄金属	22,135	1.5	61,823	4.1
金属製品	8,145	0.5	23,919	1.6
機械	92,322	6.1	71,341	4.7
電気機器	216,018	14.4	142,182	9.4
輸送用機器	169,236	11.3	179,750	11.9
精密機器	12,811	0.9	12,036	0.8
その他製品	—	—	8,211	0.5
電気・ガス業	24,148	1.6	26,981	1.8
陸運業	71,587	4.8	79,440	5.3
海運業	—	—	—	—
空運業	—	—	—	—
倉庫・輸送	20,068	1.3	—	—
情報・通信業	117,302	7.8	102,249	6.8
卸売業	79,048	5.3	112,581	7.4
小売業	121,980	8.1	98,392	6.5
銀行業	173,386	11.5	197,766	13.1
証券業	—	—	—	—
保険業	11,127	0.7	18,392	1.2
その他金融業	25,813	1.7	72,724	4.8
不動産業	19,178	1.3	74,485	4.9
サービス業	—	—	—	—
全体	1,501,385	100.0	1,512,945	100.0

### ○特別勘定選択タイプ

2012年度末、2011年度末とも国内株式は保有していません。

## 7. 国内公社債主要銘柄

### ○最低年金原資保証タイプ

(1) 銘柄の明細 (保有上位10銘柄)

順位	銘柄名	種別	額面 (千円)	時価単価	時価額 (千円)	構成比 (%)
1	第96回 利付国債 (5年)	国債	700,000	101.27	708,904	26.5
2	第315回 利付国債 (10年)	国債	610,000	106.28	648,304	24.2
3	第77回 利付国債 (5年)	国債	580,000	100.44	582,539	21.8
4	第252回 利付国債 (10年)	国債	270,000	100.20	270,546	10.1
5	第90回 利付国債 (5年)	国債	180,000	100.53	180,956	6.8
6	第88回 利付国債 (5年)	国債	150,000	100.86	151,294	5.7
7	第87回 利付国債 (5年)	国債	100,000	100.76	100,763	3.8
8	第269回 利付国債 (10年)	国債	30,000	102.43	30,729	1.1
9	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—

(2) 種別別保有状況

(単位:千円、%)

項目	2011年度末		2012年度末	
	時価額	構成比	時価額	構成比
国債	3,259,939	100.0	2,674,039	100.0

### ○特別勘定選択タイプ

2012年度末、2011年度末とも国内公社債は保有しておりません。

## 8. 外国公社債主要銘柄・外国株式主要銘柄

2012年度末、2011年度末とも最低年金原資保証タイプ、特別勘定選択タイプにおいて外国公社債、外国株式は保有しておりません。

## 9. その他の有価証券主要銘柄

### ○最低年金原資保証タイプ

2012年度末、2011年度末ともその他の有価証券は保有しておりません。

### ○特別勘定選択タイプ

ワールド・ミックス40

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額 (千円)	構成比 (%)
1	すみしん バランス30VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	162,096,687	1.2928	209,558	84.8
2	すみしん 日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	30,583,769	1.2264	37,507	15.2

ワールド・ミックス60

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額 (千円)	構成比 (%)
1	すみしん バランス50VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	11,037,051	1.3334	14,716	78.1
2	すみしん 日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	3,370,623	1.2264	4,133	21.9

ワールド・ミックス80

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額 (千円)	構成比 (%)
1	すみしん マイセクション75VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	71,513,188	1.4093	100,783	76.4
2	すみしん 日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	25,325,693	1.2264	31,059	23.6



ご契約に関する  
ご照会は  
コールセンターまで

●一般のお客さま



携帯・PHS OK

ミナジブロック  
**0120-37-2269**

●教職員のお客さま



携帯・PHS OK

ミナキョウイク  
**0120-37-9419**

**受付時間**

平日8:30～20:00 / 土曜9:00～17:00 (日・祝・12/31～1/3を除く)